

病害虫発生予察情報

8 月月報

令和 8 年 9 月 10 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2026 年 8 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均					
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比 (%)	本年	平年比 (%)
上旬	33.9	1.4	24.0	0.3	28.1	0.6	54.5	184.1	83.0	130.5
中旬	31.6	-0.1	22.5	-0.9	25.9	-1.1	144.5	235.7	40.5	71.1
下旬	31.8	1.0	23.2	0.7	27.0	0.9	49.0	59.3	46.2	80.5
平均	32.4	0.8	23.2	0.0	27.0	0.1				
合計							248.0	143.0	169.7	95.3

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所
※ 平年差（比）：平年値（1991～2020 年の平均値）からの差（比）

<天候概況>

上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、気圧の谷や湿った空気の影響で雨や雷雨の日もあった。
旬平均気温は平年並、旬間日照時間は多く、旬降水量は平年並となった。

中旬：期間の中頃までは湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなり、雷を伴った日もあった。
期間の終わりは、高気圧に覆われて晴れの日もあった。特に、11 日は台風第 15 号の影響で、13 日は湿った空気の影響で、それぞれ大雨となった。
旬平均気温は低く、旬間日照時間は少なく、旬降水量はかなり多くなった。

下旬：高気圧に覆われて晴れの日もあったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなり、特に 22 日は雷を伴い大雨となった。
旬平均気温と旬間日照時間はともに平年並、旬降水量は多くなった。

2 作物生育概況

（1）イネ

出穂期、生育ともに平年並みであった。

（2）野菜類

果菜類:トマト、ナス等果菜類の生育は順調であった。
葉菜類:キャベツ、ブロッコリー等葉菜類の生育は概ね順調であった。
根菜類:ニンジン等根菜類の生育は順調であった。
イモ類:サトイモ、サツマイモ等イモ類の生育は順調であった。

(3) 果樹

農総研果樹圃場(灰色低地土)における主要品種の収穫期と平年差(カッコ内)は以下のとおり。

ブドウ:収穫始めは‘高尾’で平年より8日早くなった。

‘高尾’収穫始 8月13日(−8日)

ナシ:収穫始めは、‘幸水’、‘稲城’、‘秀玉’で4〜7日早くなった。

‘幸水’収穫始 8月 7日(−7日)

‘稲城’収穫始 8月 19日(−4日)

‘秀玉’収穫始 8月 21日(−5日)

(4) 茶樹

暑すぎず、雨もあり生育はおおむね順調だったが、雑草が多く雑草管理が大変であった。目立った病害虫被害はなかった。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病	< 少 >	発生は少なかった。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ツマグロヨコバイ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ヒメトビウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ		
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニセナシサビダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
果樹共通		
カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノホソガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(4) 野菜の病害虫

キュウリ		
べと病	< 並 >	発生は平年並みであった。

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並みであった。
ナス		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並みであった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並みであった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< 並 >	発生は平年並みであった。
ネギアザミウマ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
サツマイモ		
イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。
サトイモ		
ワタアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セスジスズメ	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カブラヤガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハイマダラノメイガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

大島：トマト・ミニトマトでハモグリバエの発生がやや多かった。

八丈島：レザーファンでカイガラムシ類の発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 侵入調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>

病害虫防除所ホームページ

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。